

第1回 みどり市立学校適正規模・適正配置笠懸地区検討委員会 議事録

○日 時 令和7年7月24日（木） 午後7時00分～午後8時40分

○場 所 笠懸公民館 2階 サークル活動室2・3

○出席者

【みどり市立学校適正規模・適正配置笠懸地区検討委員会委員】12名

委員長	田口 和人
副委員長	近藤 博一
委員	坂本 光博
委員	小内 武明
委員	大月 亮
委員	藤生 彩香
委員	大舘 妙子
委員	春山 寛之
委員	藤生 義道
委員	横山 美郷
委員	黒澤 寿一
委員	大澤 智

【欠席者】2名 委員 津久井 麗華、委員 増田 博司

【みどり市教育委員会】 8名

みどり市教育委員会	教育長	保志 守
みどり市教育部	部長	金高 吉宏
教育総務課	課長	今泉 源太郎
学校教育課	課長	神山 亮一
教育総務課	課長補佐	園原 裕一
学校教育課	課長補佐兼指導係長	知久 鉄平
教育総務課施設係	係長	大窪 進
学校教育課教職員係	管理主事	西村 晋一

【報道機関】 桐生タイムス社

【傍聴者】 なし

○議事の概要

1 開 会 [開始：午後7時00分]

2 委嘱状の交付

- ・ 保志教育長から委員へ委嘱状を交付

3 教育長あいさつ

- ・ みどり市教育委員会 教育長 保志 守

皆様、こんばんは。

本日は、大変公私ともにお忙しい中、第1回となりますみどり市立学校適正規模・適正配置 笠懸地区検討委員会にご出席をいただき誠にありがとうございます。

そして皆様には、日頃から教育行政に深いご理解とご協力をいただいておりますことについても、厚くお礼申し上げます。この度は、本委員会の委員を引受けていただき、こちらについても重ねて感謝申し上げるところであります。

さて、みどり市ではこれまでに、小規模校化が顕著となっていた大間々の小学校の統廃合や東町の小中学校を統合した義務教育学校への移行、大規模校となっていた笠懸小学校を分離し、笠懸西小学校の新設を行ってきました。しかし、今後も児童生徒数は減少していく見込みとなっており、少子化に対応した学校教育の在り方について、将来を見据えた取組が必要になってまいりました。

そこで、令和5年度より「みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会」を立ち上げ、みどり市として望ましい学校規模や学校配置について、2年間をかけて検討していただき、令和6年8月に検討委員会から答申をいただきました。

さらに、教育委員会では、いただいた答申を基に、今後の学校規模の適正化や将来を見据えた学校配置の在り方、少子化に対応した魅力ある学校づくり等について、その基本的な考え方をまとめた基本方針を策定いたしました。

今後の市内の学校規模や学校配置については、速やかに具体的な検討を始める必要があります。そして、笠懸町、大間々町、東町それぞれの地域における学校規模及び学校配置の現状と課題は大きく異なりますので、地域ごとの実情に応じた具体的な検討が必要です。また、協議については、保護者や学校関係者、地域住民の皆様のご意見を尊重しながら進めていくことが大切であることから、今年度より本委員会を設置することといたしました。

そして、本基本方針と地区別検討委員会で得た方向性を踏まえながら、学校の統廃合や移転新築等について、地域住民や保護者、児童生徒、関係者の皆様の理解や協力を得ながら、総意として判断できるよう準備を進めてまいりたいと考えています。

委員の皆様におかれましては、本基本方針を参考にいただきながら、それぞれのお立場から、笠懸町に適した方向性を幅広くかつ具体的に検討していただき、専門的な知識や経験を生かしながらご意見を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

4 自己紹介

- ・委員及び事務局自己紹介

5 委員長及び副委員長の選出

- ・委員の互選により、委員長に田口和人委員、副委員長に近藤博一委員を選出。

6 諮 問

- ・保志教育長から委員会（委員長）へ諮問【配布資料 3】

7 確認及び説明事項

- ・確認及び説明事項に移る前に、みどり市立学校適正規模・適正配置地区別検討委員会規則【配布資料 2】の一部について事務局より確認。

- ① 議事進行は、みどり市立学校適正規模・適正配置地区別検討委員会規則第 6 条第 1 項の規定により、委員長が議長を務める。
- ② みどり市立学校適正規模・適正配置検討委員会規則第 6 条第 2 項の規定により、本日の委員会は過半数以上の委員の出席により成立する。

（1）みどり市立学校適正規模・適正配置地区別検討委員会規則について

- ・【配布資料 2】に基づき、事務局から説明。

（2）みどり市立学校の適正規模・適正配置基本方針について

- ・【配布資料 4】に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発 言 内 容
議長（委員長）	少子化に対応した魅力ある学校づくりの中に、「児童生徒の教育環境を充実させるため学校施設の大規模改修や建替などを行う際、学校施設の複合化を検討する」という話がありました。その中の「コミュニティスペースを設ける」「社会教育施設との複合化」「福祉施設との複合化」という部分について、もう少し具体的にイメージができるようなお話をいただけますか。
事務局 1	そのことについては基本方針の P36 にやや詳しく書かせていただいています。これまでは学校施設と言いますと学校のための施設となっていました。小規模化がかなり進んでいる地域によっては、学校の機能の他に様々な施設を複合化していくという動きが一部見られます。具体的には、P36 の第 2 段落のところに、図書館や公民館といった社会教育施設との複合化、さらに児童福祉施設や社会福祉施設、市役所施設と学校施設の複合化というようなことを例に挙げさせていただいています。このことを「コミュニティスペース」と説明させていただいています。
事務局 2	今、笠懸西小学校には地域の方々と触れ合えるようなスペースがあります。地域の方々がそこでいろいろな作業ができたり会議ができたりするようなス

	ースを学校内に設けています。そういった場所を「コミュニティスペース」として考えています。
議長（委員長）	イメージ化ができますね。皆さんからは何かご質問等はありませんか。
副議長（副委員長）	学校配置の東町のところで、小規模校特認校として市内全域からの通学が可能ということですが、現段階で他の小中学校から何人くらいあずま小中学校に行っているのか。それから、あずま小中学校に行くことによって、例えば大間々南小学校だったらより人数が減ってしまうということがあり得ると思うので、どのようにバランスを取っていくのか。現状を教えてください。
事務局 1	あずま小中学校には、笠懸・大間々から 9 人の児童生徒が通っています。保護者及び児童生徒の選択ということになりますので、人数が減るから妨げるようなことはありませんので、他の学校の人数が減る可能性はあります。

8 協議 今後の笠懸町における学校適正規模・適正配置について

- ・【配布資料 4】 P39,40 に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

今後の笠懸町における学校適正規模・適正配置について	
発言者	発 言 内 容
議長（委員長）	今、事務局から笠懸町の適正配置についての説明がありました。昨年度の検討委員会でもこの課題について話し合われましたが、あくまでこれは 1 つの意見です。もう方向性があるように聞こえたかも知れませんが、この既定路線をなぞればよいという訳ではありません。あくまで 1 つの意見であることをご理解ください。なので、様々な検討が必要になってくると思います。その上で、今の説明とは別の視点というものも加えていければと思っています。基本方針の P39,40 をご覧ください。この笠懸地区検討委員会が対象とする課題があります。課題①学校施設の老朽化。笠懸小学校の校舎の一部は市内で一番古く、施設の目標使用年数が近づいていること。その上で、課題の②として、小学校 4 校の配置バランスというのが大きな課題になるということです。1 つ目は笠懸小学校と笠懸西小学校が極めて近いという問題、2 つ目は笠懸小学校の学区と笠懸西小学校の学区が隣接しており、児童の一部は遠い方の学校へ通っている、3 つ目は笠懸小学校の卒業生のうち約 30 パーセントが笠懸中学校へ進学し、約 70 パーセントが笠懸南中学校へ進学している状況があるということです。これらを踏まえながらどのような配置にしていくのがよいかを検討したいということで、これまでの検討委員会で課題として出したということです。考え方として、課題①と課題②というのは非常に入り組んでいますので、老朽化の問題も解決しなければいけないけれども、配置バランスも考えなければいけないというややこしさを抱えています。なので、考え方としては、課題②の配置バランスを考える中で、老朽化の問題をうまく落とし込んでいく、順番的には課題②課題①の順番で考えられたらよいのではないかと考えています。何か皆さんの方からご意見等ありますか。これからは笠懸地区についての

	話に焦点を絞って進めていきたいと思っています。もちろん基本方針に戻ることでもあります、笠懸地区に集中した議論を行っていききたいと思います。 笠懸小学校では、笠懸西小学校が新たにできて保護者や子どもたちから何か意見がありましたか。
委員 1	正直なところ、位置関係というよりも、新しい学校に行けてラッキーという意見の方が多い印象です。遠い近いというよりも、新しいか今までのかみたいな意見の方が私の周りでは多いです。「学区が遠くなってしまった」というよりも「あっちに行けてラッキー」のような声の方が多いように感じます。
議長（委員長）	「あっちに」とは笠懸西小学校のことですか。
委員 1	はい。
議長（委員長）	笠懸小学校に残っている児童たちは、行けなくて残念という感じですか。
委員 1	そこまでは言っていないんですが、どうしても新しいものに惹かれてしまうのが人間の根っこの部分かと思います。私の周りでは、例えば9区に引っ越してくる人が個人的には多い印象があります。親も子どももこのような意見が現状では多いと思います。これが10年20年経つと分からないですけど、少なくとも現時点、笠懸西小学校ができて3～4年の中ではそうです。私の長男はちょうど2つの学校に分かれた世代なので、「いいなあ」という感じでした。なので、このような組織で考える課題と実際の保護者や児童が考えるところは、若干乖離があるかもしれないなという印象を持っています。
委員 2	新設校ということもあり、新設する前は配置の問題で学区や通学距離に焦点が当てられていましたが、実際に西小が建てられて通い始めると、やはり新しい古いという色眼鏡で見がちかなという印象を受けます。距離的に笠小でも西小でも近いという方は、もちろん新しい方という意見が活発に出てきます。それ以外の件で言いますと、西小における意見としては、50号を渡る問題が挙げられています。これは児童の通学の安全面からで、いくら新しくても50号を横断するのであれば笠小に行ってもらいたいという親の意見もあります。新しい学校に行きたいという意見は子供の意見が多いのに対して、保護者としては安全面を考慮して古い新しいではなくて笠小に安全に通ってほしいという声もあがっているので、そこは一長一短かなという感じはしています。
議長（委員長）	笠懸地区における小学校の配置問題については、笠西小と笠小のところが焦点化されている傾向にありますが、この点について、区長会で何か耳に入っているお声やお考えになられていることはありますか。
委員 3	以前、冬に住民説明会があって基本方針について聞かせてもらいました。他の6区の者も聞きに行ったのですが、「この案でいけばちょうどいいよね」というのが第一印象でした。学校が隣接していて、6区からは笠小はかなり遠い位置にあります。一番南側なので。なおかつ、6区の中で今どんどん人口が増えてるのは一番南側の方、学校から一番遠いところなんです。そのあたりに家を建てる方がたくさんいらっしゃるの、子どもが増えているのは南側です。

	丸い点線で楕円がかかれていて、このあたりに移転したらどうかということだと思いますが、子どもの人数から考えるともっと南に下がってくれた方がバランスがいいんじゃないかという印象をもっています。そうすれば、今の3つの課題である、老朽化、配置バランス、学校区について、いっぺんに考えられる一番いい案かなという気がします。
委員 4	9区ですけど、先ほど委員2さんが言ったように、50号がやはりネックになっています。新設されたときに校長先生、またPTAの人と相談して、「見守り隊」というのを9区独自で発足しまして、子どもたちが50号を渡るときや新しい道路を通るときに見守るという取組をしています。新設したときから始めて3年目になります。地区の人にボランティアでやってもらっています。
議長（委員長）	それは朝の登校時ですか。
委員 4	2時から3時ごろの帰りの時間帯です。朝はPTAの人やお母さんお父さんがやってくれているので、帰りの時間に合わせて行っています。若い人は皆働いている時間なので。
副議長（副委員長）	昨年8区の区長だったので、8区の区長経験者としてお話しします。8区は笠北小と笠西小に半分に分かれます。新しく転入して来られる方では、笠西小に通えるという位置に土地を求めて転入してくる方が多いです。笠小の方が近いんですけど笠西小がいいからこの辺りに来たという人もいます。 それからもう1つ、区長会の方で、交通信号関係を確認する日があるのですが、8区には笠小に向かうために横断歩道や歩行者用信号がついている場所があります。もう使わない笠小に行くための道が整備されているのに、笠西小に行くための道がまだ整備されていないのが現状です。8区の中においても、信号が利用しやすい場所に付いておらず、横断歩道で交通量がかなりの激しい道を渡らなければいけない場面が出てきます。だから、新設校を考えるときには、歩行者用信号はどうなっているかというところまで視野を広げて子どもの安全を考えていく。現段階で笠西小の通学路には、整備が不十分な場所があるという認識をしていた方がいいと思います。
議長（委員長）	今笠小と笠西小が話題になっていますが、そういった動きを見ながら笠東小の会長さんと笠北小の会長さんは何か思うところがございますか。
委員 5	私は2区に住んでいるのですが、学区自体は小学校に通うにしても中学校に通うにしても子どもの足で十分通える距離だなと思っています。今3人の子どもがお世話になっているのですが、やっぱり笠西小について「いいな、いいな」という話は子どもからも親御さんからも聞こえています。同じ引越をするならば笠西小の地域に、という考えは少なくなくて、実際にお子さんが小さいうちに家を建てることも多いと思うので、仕方ないのかなと思います。やっぱり周りでも実際に笠西小の近くに家を建てて子育てを始めているという方も多いです。でもそんな中で、他の学校もそうだと思いますが、笠東小では外壁を少し直していただいたりしています。やはり子どもたちが6年間一番長く通うとこ

	ろが小学校になると思うので、子どもたちが学校を比較するときは、綺麗とか、友達が多いとか、そういうところで判断しがちです。学校施設の改修の際には、古い学校は古い学校なりに少しずつ、「ここが綺麗になった」ということを子どもたちが目で見て感じられるような改修をしていけると、子どもたちがどこの学校に行っても楽しくいいところを探しながら通えるんじゃないかなと感じています。
委員 6	本当かどうかは分かりませんが、昔、笠北小の子どもたちを増やすために、笠小の区域の子どもたちを笠北小に行かせたといった話を聞いたことがあります。そのおかげかどうか分かりませんが、笠懸町の人口の推移について聞いたときに、笠北小に通う子どもたちの数の減少は、他の学校に比べて緩やかだという話を聞きました。数年後には笠北小の方が笠東小より人数が多くなるという話も聞いたことがあります。少子化について、笠懸町内でいえば、子どもは徐々に減ってはいますが、そこまでではないといった話はしていました。 あと、これからどんどん少子化で人口も減っていく中で、笠小を南に移転するといった話がありましたが、そもそも4校をずっと維持する前提で考えているのかどうか疑問でした。3つにする案もあると思っています。これからの人口減少のことを踏まえて学校の適正な規模、適正な学級数について話をしていくとしたら、このまま4校で運営していくのが適切なのかどうか。私は少人数の学校で育った身なので、少人数教育大好きなんですけど、そういう話がありつつも、4校でという話があったので疑問に思いました。
議長（委員長）	幼稚園の方は、今後小学校にお子さんを預けることになります。そのあたりで、笠懸地区の学校の話について、考えられたり、あるいは保護者同士で意見交流があったりしましたか。
委員 7	兄弟が上に2人いて、笠西小に通っています。一番下だけこども園に行っているのですが、先ほど言っていた4校というのは、いらないんじゃないかなと思います。今人口が減っている中、桐生はもう1学年1クラスになったり、小学校がなくなったりしている中で、新設するのはどうなのかなと。私はもともと笠懸出身で、笠小に行って笠中に行ったんですけど、笠小から笠中に行こうが笠南中に行こうが、子どもたちはそんなに深くは考えていないと思います。笠小が老朽化していて、新設するというのは悪いことではないとは思いますが、何かもったいない気がして。お金もかかることだし。 私が笠小笠中に通ってる頃は6クラス、笠懸中では7クラスになるかもという話も出ていました。私が通っていた頃は結構ワチャワチャしている感じでした。1クラス40人でマンモス校だったんですけど、今は分かれたから丁度いいのでしょう。そして今後は笠小がなくなって笠小に通っていた子どもたちが他の3つの学校にうまく分かれるのもよいのではと考えています。よいか悪いか分かりませんが、何かもったいない気がします。それだったらそのお金を他のことに使ってもらった方がいいのではと思っています。

委員 8	私は資料的に少し知りたいことがあります。例えば、各行政区が色分けされている図がありますが、例えば 10 区は、10 年前は子供たちの数が何人だったか、今の 2025 年が何人だったか、5 年後ぐらいだったらといったように、区ごとにどれくらい増えているのか、あるいは減っているのかが分かるような数字をここに入れてもらえると、学区を検討する上で、先のことも考えられるんじゃないかなと思いました。例えば、笠東小の地区は、この 10 年ぐらいで新入学の児童数が半分ぐらいになっている印象があります。今後の人数の予想もある程度入れながら、学区を考えていく必要もあると思います。 あとは少子化は少子化なんですけど、やはり子どもたちや住んでくれる人が増えるような方策もないと、ただ収束していくのに対応するだけになってしまうように思います。例えば競艇のお金を、新しく学校を建てたりリフォームしたりするのにどんどん注ぎ込んでいくのもよいと思います。先ほどご意見がありました、新しい学校がいいと思ってそこに住む人が増えてるのであれば、地域の学校を全部新しくする。そこまでは無理かもしれないけど、全部新しくすれば、そこに他の市から人口が流れてくるかもしれないし、幼児教育と保育園も無償化になるので、それもプラスで追い風になって、家を建てたいと思った人がいたときに、それを材料にしてくれる可能性もあるのではないかと思います。
議長（委員長）	地区ごとの児童数の変遷については、次回の会議までに事務局の方で資料として提示していただきたいと思います。校長先生は、全体を見渡していらっしゃると思いますが、どのように見ていらっしゃるかご意見をお願いします。
委員 9	私は、これまでに出了意見とも少し重なりますが、例えば笠小が老朽化していて、その配置バランスを踏まえて、仮に南の方に移転するとなると、かなりそこでまた時間を要すると思います。場所を探して、学校を建てていくとなると、大変なエネルギーを使う作業で、それが何年ぐらいでできるのかはわかりませんが、移転したときに、笠西小は引っ越してこられる方も大勢いらっしゃるというお話もありましたけど、それぞれの学校規模がどうなっているのか、単純にその笠小を動かすだけで解決するのか、というところについては少し心配なところがあります。 それと、もし笠小を移転するのであれば、今の笠小がある場所の跡地利用、先ほどいろいろな複合施設なんてお話もありましたが、市として笠小だったところをどうしていくか、その辺は教育委員会だけではないかもしれないですけど、セットでここに示していけると、市民の方には説明しやすいのかなという気はしました。
委員 10	私は昨年度から出ていたからというわけではなくて、この案に賛成です。中学校は笠中地区と笠南中地区というように分かれてます。笠西小が新しいからということで、そちらに比較的土地を求めて、子どもが増加までいかないかもしれないけど入ってきています。もし笠小をこの案の通りに 6 区の方に移転し

	た場合、またそこで新しい学校ができます。そうすればもしかすれば、そこに魅力を感じて、その学区内に家を建てる方がいるかもしれません。そうなった場合、笠西小の方でも比較的家が建ち始め、ちょっと先になるけど6区の方でも家が建ち始めたとします。そうすると、笠中地区でも比較的人口が増える地区があり、笠南中地区にも比較的人口が増えてくると思います。そうすると、中学校の生徒数もすごくバランスが取れていいのかなと思っています。あわせて、6区のところから笠西小のところは高速道路のアクセス道路が通ってます。その周辺はまだ多分土地があったりとか、さらに言えば、そこを50号のバイパスが通ったりとか、かなり交通事情が、この先5年10年、いろいろ変わってくると思います。そうすると、比較的这个笠西小の地区と、案の新笠小（仮）を図にあるような場所に建てておけば、道路の開通も相まって、もしかすると人口が増えるのではないかなと思うので、私はこれに賛成です。
議長（委員長）	4校配置に対して3校配置という意見が出てきました。そういう意見が出たことは非常によいことだと思います。予定の時間がきております。 1つ確認ですが、行政区ごとの子どもの人数についての資料はぜひ事務局の方でお願いします。今日出た意見を基にしながら、私と事務局で議論整理をして、次回資料をお出ししながら検討していきたいと思います。またそれぞれのところで、区長さんのところでも、他の区長さんのご意見も聞いていただいて、まだお話しただければと思います。PTA会長さんもいろいろな保護者のご意見を聞いていただいて、この場で出していただけるとありがたいです。
委員 4	参考のために、笠東小と笠北小の校舎の築年数は何年ですか。
事務局 3	笠東小は49年、笠北小は47年になります。
委員 4	そうすればあと10年後はもう60年になってしまいますね。そうすれば笠小を移転しておいて、10年後になれば少子化で子どもが少なくなるので、笠北小と笠東小を合併して、先ほど言ったみたいに3校にするという考えもあるのではないかな。4校はいらないと言っていたから、笠小をとりあえず作っておいて、後々笠北小と笠東小を考えていく。特に笠東小は端にあって山際で、桐生県道を渡っていくのは子どもたちにとっては大変だと思います。笠北小は結構大間々に近い方だから、10年後少子化になったら考えていけばいいのではないかな。
議長（委員長）	この会はもう少しじっくりと時間をかけて議論できますので、あまり結論を急がず行きましょう。

9 その他

・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発言内容
委員 2	今皆さんのお話を聞いていて、本委員会は学校の適正規模・適正配置ということだと思うんですけど、市政、移住定住、みどり市の未来に関わることまで含まれているなという気がしました。そこまでを加味して皆さんで考えた方がいいのか、学校の規模・配置についてのみを考えていくのか、足並みをそろえないといけないと思います。こうやったら人口が増えるとか、税収が上がるとか、町が活性化するとか、そこまで考えると学校というくくりから外れてしまう気がします。そこまで加味した議論が必要なのか、端的に学校というくくりで考えた方がいいのか、事務局からご意見をいただきたいです。
事務局 1	先ほど諮問させていただきましたが、この委員会の位置づけが 1 ～ 4 で、「学校の適正な規模に関すること」「学校の適正な配置に関すること」「少子化に対応した魅力ある学校づくりに関すること」「その他教育委員会が必要と認めること」となっております。中心はやはり学校の適正規模・適正配置と考えております。その中に今皆さんの議論にあったように市政、人口増といったことなど、完全に分けることは無理だと思いますが、基本はあくまで諮問の内容と考えていただいて、そこにこれからのみどり市のことが加味されるというような考え方はどうかと考えています。

10 諸連絡

第 2 回委員会 日時 令和 7 年 1 0 月 1 6 日（木） 19:00～

会場 笠懸公民館 2 階 サークル活動室 2 ・ 3

11 閉会